

県民の防災意識及び取組状況

兵庫県は、安全・安心な社会づくりに向けて、阪神・淡路大震災以降、総合的な防災や減災のための対策を推進しています。こうした中で、近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震では強い揺れや津波が広範囲にわたって生じると予想されるなど、命を守るためには日頃の備えが重要です。

このため、今後のさらなる防災・減災対策に役立てる目的で、災害に対する意見や地域における備えの現状について、県民モニターの皆さんのご意見をいただくことといたしましたので、ご協力をお願いします。

[県民のリスク認識]

- Q1 あなたが住んでいる地域は、自然災害（地震、津波、土砂災害、洪水等の災害）に対して安全だと思いますか。
- 安全
 - まあ安全
 - やや危険
 - 危険
 - わからない
- Q2 県のホームページ等で公表している津波浸水想定区域について、あてはまるものを、お選びください。
- 自宅が津波浸水想定区域内にあることを知っている
 - 自宅が津波浸水想定区域内にないことを知っている
 - 自宅が津波浸水想定区域内にあるか知らない
- Q3 自宅にいるとき、居住地域に大津波警報・津波警報の発表を知った場合に、いつ避難しますか。
- すぐに避難する
 - 市町の避難勧告等が発令された後に、避難する
 - 周辺の浸水が始まってから、避難する
 - 自宅が安全と思うので、避難しない
 - 自宅が安全か分からないが、避難しない（下欄に避難しない理由を記入ください）
-

Q 4 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。(いくつでも)

- ひょうご防災ネット (http://bosai.net/regist/)
- 国、県、市町などの行政機関の広報誌やホームページ
- Yahoo、Google などのポータルサイト
- スマートフォンのアプリ
- 新聞
- テレビ
- C A T V
- ラジオ
- 友人、知人や家族
- 地域の人 (自治会長等)
- 防災無線やサイレン
- 半鐘
- その他 (下欄に具体的にご記入ください)

Q 5 あなたは「兵庫県CGハザードマップ」を知っていますか。

※兵庫県CGハザードマップ

5つの自然災害(洪水・土砂災害・津波・高潮・ため池災害)による浸水想定区域や危険箇所が確認できるほか、土砂災害の危険度や河川・港湾のライブカメラ等の観測情報、避難時に必要な知識など、防災・減災に役立つ情報を掲載したホームページ

(参考) 兵庫県CGハザードマップ (外部サイトへリンク)

- 見て、災害に備えて実際に活用している
- 見たことはあるが、あまり活用していない
- 見たことはないが、言葉は知っている
- 全く知らない

[自助の課題への取組]

Q 6 あなたの家では、災害に備え、普段からどのようなことについて、家族で話し合いをしていますか。(いくつでも)

- 住んでいる地域の避難場所・避難経路の確認
- 災害時の家族との安否確認・連絡方法
- 非常用食料、持ち出し品等の保管場所、使用方法
- その他、災害発生時の行動、災害への備え等
- していない

Q 7 お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。

- 知っている
- 知らない

Q 8 安全な場所まで避難する時間がないときは、安全確保のため、自宅2階など高所へ避難する方が有効な場合があることを知っていますか。

- 知っている
- 知らない

Q 9 あなたは、災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

- | | |
|----------------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 防災無線やサイレン | <input type="checkbox"/> 市町の広報車や消防車両 |
| <input type="checkbox"/> インターネット（ホームページ） | <input type="checkbox"/> 地域の人（自治会長等） |
| <input type="checkbox"/> 友人、知人や家族 | <input type="checkbox"/> C A T V |
| <input type="checkbox"/> テレビ | <input type="checkbox"/> ひょうご防災ネット |
| <input type="checkbox"/> 緊急速報メール（エリアメール） | <input type="checkbox"/> ラジオ |
| <input type="checkbox"/> 半鐘 | <input type="checkbox"/> スマートフォンのアプリ |
| <input type="checkbox"/> その他（下欄に具体的にご記入ください） | |

Q10 お住まいの戸建て住宅・マンション等（賃貸除く）が、昭和56年以前に建築された方のみお答えください。（木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず）あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

- 耐震診断をした結果、耐震補強の必要は無かった
- 耐震診断をした結果、耐震補強の必要があると診断されたが、現時点ではしていない（下欄にしていない理由を記入ください）
- 耐震診断及び耐震補強をしていない（下欄にしていない理由を記入ください）
- 耐震補強をした

Q11 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。（いくつでも）

- 家具等の固定をしている
- できれば家具等の固定をしたい（下欄にしていない理由を記入ください）
- 将来にわたって家具等の固定はしない（下欄にしない理由を記入ください）
- 飲料水や食料品の備蓄をしている（Q11-2に進む）
- できれば飲料水や食料品の備蓄をしたい（下欄にしていない理由を記入ください）
- 将来にわたって飲料品や食料品の備蓄はしない（下欄にしない理由を記入ください）
- 携帯トイレ又は凝固剤の備蓄をしている
- できれば携帯トイレ又は凝固剤の備蓄をしたい（下欄にしていない理由を記入ください）
- 将来にわたって携帯トイレ又は凝固剤の備蓄はしない（下欄にしない理由を記入ください）

Q11-2 前問で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と回答された方にお伺いします。

家庭での備蓄は何日分ですか。(【飲料水】と【食料品】それぞれ一つずつ)

※ 1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水を1日～2日分 | <input type="checkbox"/> 食料品を1日～2日分 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を3日分 | <input type="checkbox"/> 食料品を3日分 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を4日～6日分 | <input type="checkbox"/> 食料品を4日～6日分 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水を7日以上 | <input type="checkbox"/> 食料品を7日以上 |

[共助の課題への取組]

Q12 あなたは、この1年以内に地域の自然災害に対する防災訓練に参加したことがありますか。

- 参加したことがある
- 参加したことはないが、機会があれば参加したい（下欄に参加していない理由をご記入ください）
- 今後も参加するつもりはない（下欄に参加しない理由をご記入ください）

Q13 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度（フェニックス共済）をご存じですか。

- すでに加入している
- 内容は知っているが加入していない（下欄に加入していない理由をご記入ください）
- 言葉は見聞きしたことはあるが、内容は知らない
- 全く知らない

[防災力強化県民運動]

Q14 あなたは、防災対策として関心があるものはどれですか（いくつでも）

- 家具の転倒防止
- 住宅の耐震化
- 食料等の備蓄
- 感震ブレーカーの設置
- 県住宅再建共済制度
- 実践的な防災訓練の実施
- 阪神・淡路大震災の経験・教訓
- 自主防災活動に関する防災講義
- ワークショップ、危険箇所マップづくり等
- 津波、豪雨災害等に備える避難訓練
- その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q15 県民の自主的な防災活動を経費面で支援する「ひょうご安全の日推進事業助成制度」を知っていますか。

- 内容も含め、知っている
- 言葉は見聞きしたことがあるが、内容は知らない
- 知らない

Q16 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。(いくつでも)

- フェンス、電柱等に海拔と津波高、避難場所の方向を表示
- 避難路沿道で倒壊の危険のある建物や豪雨時に土砂崩れの危険性のある地点の表示
- 津波や豪雨災害を想定した避難訓練の実施
- 災害時に避難行動や生活面等で何らかの配慮を要する人への支援体制づくり
- 避難したことを示す標識（シール等）の作成・配布
- していない
- 知らない
- その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q17 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人（あなたの家族を除く）に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。(いくつでも)

- 安否の確認
- 災害状況や避難情報などの伝達
- 本人の家族や親戚等へ連絡
- 一時的な保護（あなたの自宅での介抱など）
- 避難所等までの避難誘導・補助
- 応急手当
- 協力できそうにない（Q17-2へ進む）
- 何をすればよいかわからない
- その他（下欄に具体的にご記入ください）

Q17-2 前問で「協力できそうにない」と回答された方にお伺いします。あなたが協力できそうにないのはどのような理由からですか。(いくつでも)

- 自分や自分の家族が避難するだけで手一杯だから
- 自分の年齢や体調等を考えると、自信がないから
- 仕事の都合等で地域を離れている時間が長いから
- 近所付き合いがないため、自力で避難することが困難な人がどこにいるかわからないから
- 消防や警察が助けしてくれると思うから
- 他の誰かがやると思うから
- 他人の命を預かる責任を負えないから
- その他 (下欄に具体的にご記入ください)

Q18 その他、防災・減災について、ご意見等があれば、お聞かせください。(下欄に自由にご記入ください。)